

## 衆議院議長に対する申し入れ

民主党と赤松委員長は、本日、与野党合意なしに一方向的に倫理選挙特別委員会を開会し、民主党のみの出席で民主党案の採決を強行した。

民主党は、この間、衆院選挙制度に関する各党協議を一方向的に打ち切り、単独で法案を提出して委員会への付託を強行し、さらに単独で趣旨説明・質疑を行い、採決まで強行した。選挙制度は議会制民主主義の土台であり、与党だけで強行することは、断じて許されない。憲政史上これほどの暴挙はない。

議長においては、民主党単独の強行採決を認めず、本会議の議題としないよう取り計らうべきである。われわれは、選挙制度について、各党間の協議の場を設けるなど、丁寧な議論をやり直すことを求めるものである。

2012年8月27日

自由民主党	岸田 文雄
国民の生活が第一	鈴木 克昌
公明党	漆原 良夫
日本共産党	穀田 恵二
新党きづな	豊田 潤多郎
社会民主党	照屋 寛徳
みんなの党	山内 康一
新党大地・真民主	松木 けんこう
たちあがれ日本	園田 博之
新党日本	田中 康夫
新党改革	荒井 広幸